

パワフル学級

わたしたちの学級はとてにぎやかで元気いっぱいです。でも、おしゃべりもよくするので、先生にときどき注意されます。また勝ち負けのあるゲームやし合をする時、けんかや言い合いになることもよくあります。

昨日の体育の時間、フットベースボールをした時もそうでした。

「もつと遠くにけってよ。ゆう子さんのせいで、ぼくまでアウトになった。」

わたしがけたボールが、二るいの手前に転がったことで、アウトになったかずまくんが、おこったように言いました。そばにいたゆうじくんも、

「負けてしまった。」
と、わたしをにらむようにして言いました。学級の他のみんなもだまって、わたしを見ました。わたしはうつむいて、なみだが出そうになるのをひっ死でこらえました。

それから毎日、わたしは友だちのけい子さんと大休けいに、運動場でボールをける練習をしました。次のし合の時、またかずまくんたちにせめられたくなかったからです。

「あつ。」

わたしがけたボールがフェンスをこえてしまいました。運動場はどんぐりざかの上にあります。ボールはどんぐりざかを転がり落ちて見えなくなっていました。わたしとけい子さんはあわてて、どんぐりざかを下りました。それを見ていた何人かの学級の友だちも、

「わたしたちも、いっしよにボールをさがしてあげる。」
と言って、いっしよにさがしてくれました。しかし、ボールはなかなか見つかりません。けい子さんが、
「みんなもボールをさがすの手つだつて。」

と、運動場で遊んでいた学級の友だちにも声をかけてくれました。すると、ほかにも学級の友だちが何人も来てくれました。その中にかずまくんやゆうじくんもいました。そして、みんなボールを一生けんめいさがしてくれました。

「あつたよ、ぼくらの学級のボールがあつたよ。」

しばらくして、かずまくんがボールを見つけてくれました。その時チャイムが鳴り、大休けいが終わってしまいました。でも、

「ボールが見つかってよかったね。」

と、学級のみんなもよろこんでくれました。わたしは、うれしくなって、学級のみんなに言いました。

「ありがとう。わたし、今フットベースボールの練習をしているのよ。今度のし合で、もっと上手にできるようにがんばるからね。」

「そうだったんだ。じゃあ、昼休けいに、ボールの上手なけり方を教えてあげるよ。」

かずまくんがえ顔で言ってくれました。すると、ゆうじくんも、

「かずまくん、ぼくたちレク係だから、休けい時間にフットベースボールをしようみんなによびかけよう。」

と言ってくれました。

それから、わたしたちの学級は、休けい時間にフットベースボールをするようになりました。その時、おたがいにアドバイスをしたり、はげましの声をかけたりしています。また、レク係が中心になり、みんなでいっしょに遊ぶ日がふえました。

わたしの学級は相変わらずにぎやかで、ときどきけんかもあります。でも、前とはちがうパワーにあふれているパワフル学級です。

